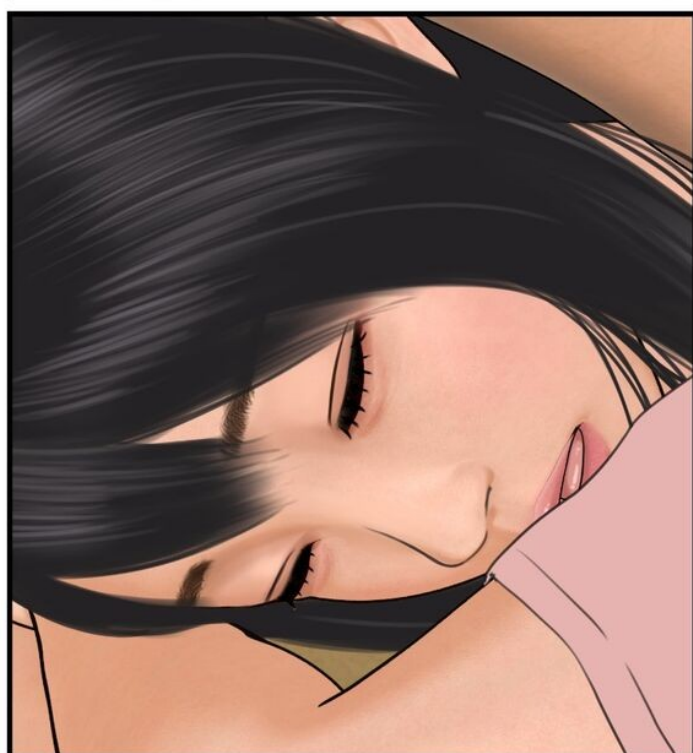
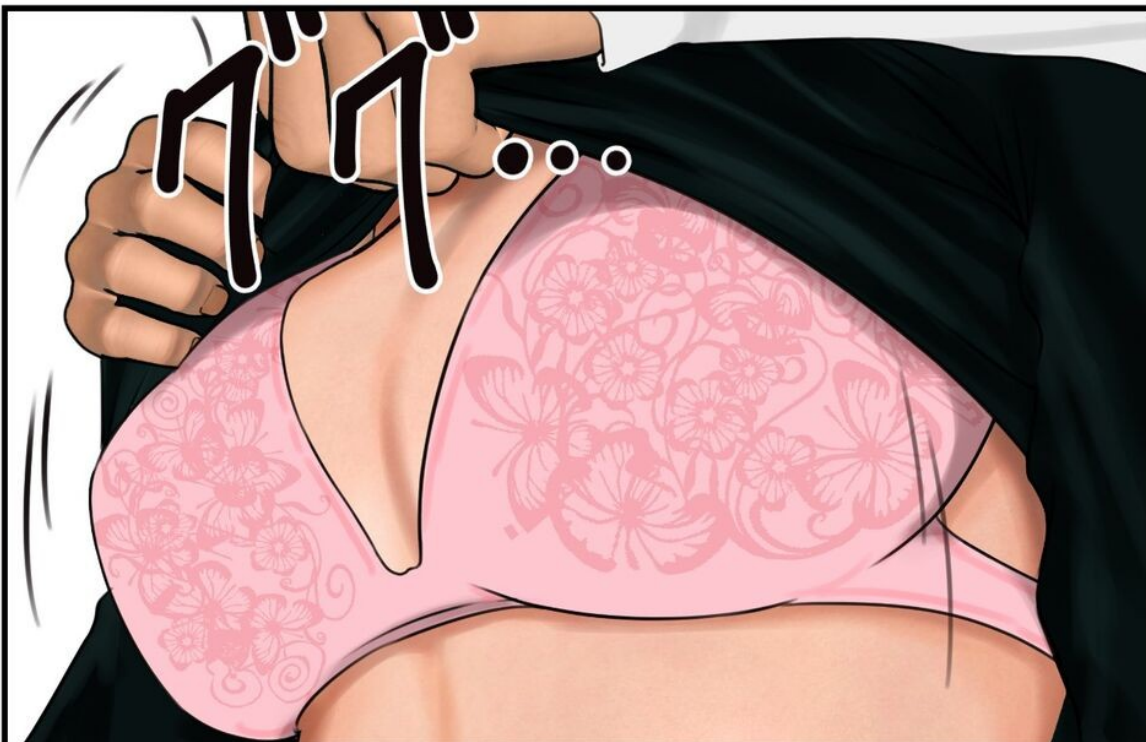
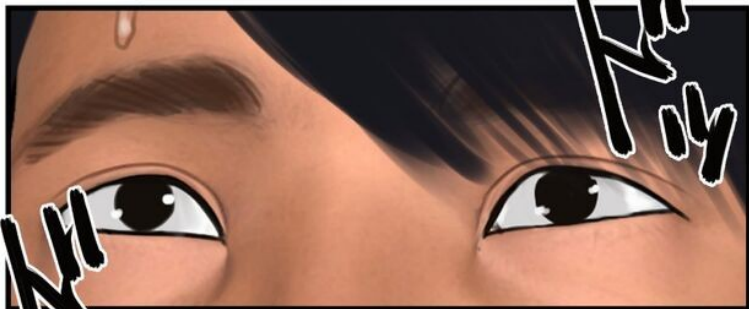
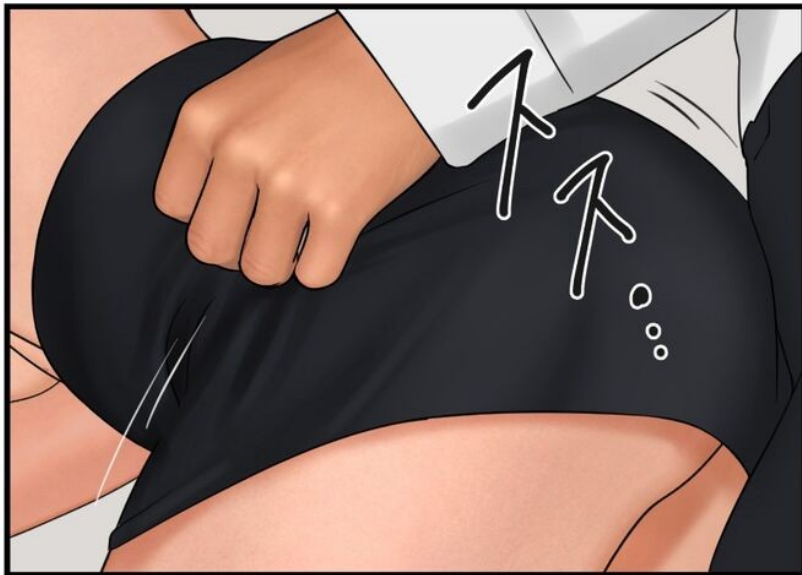
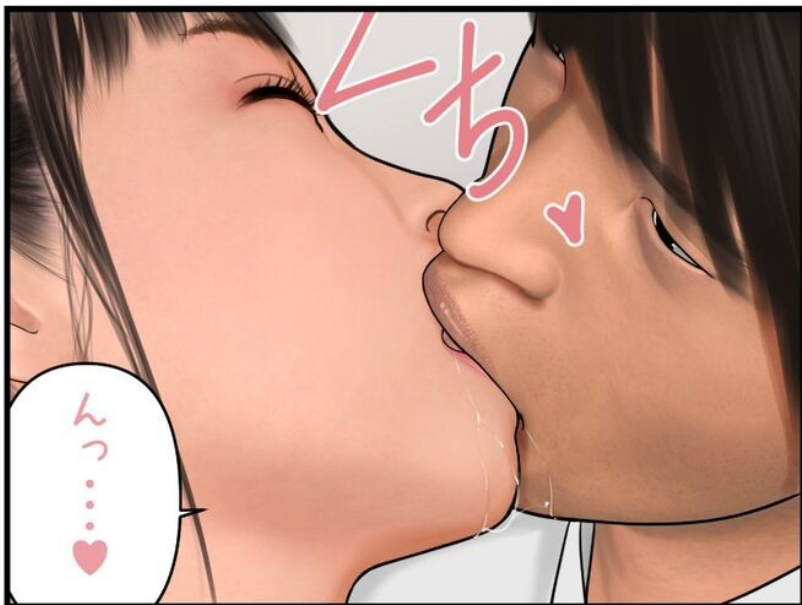
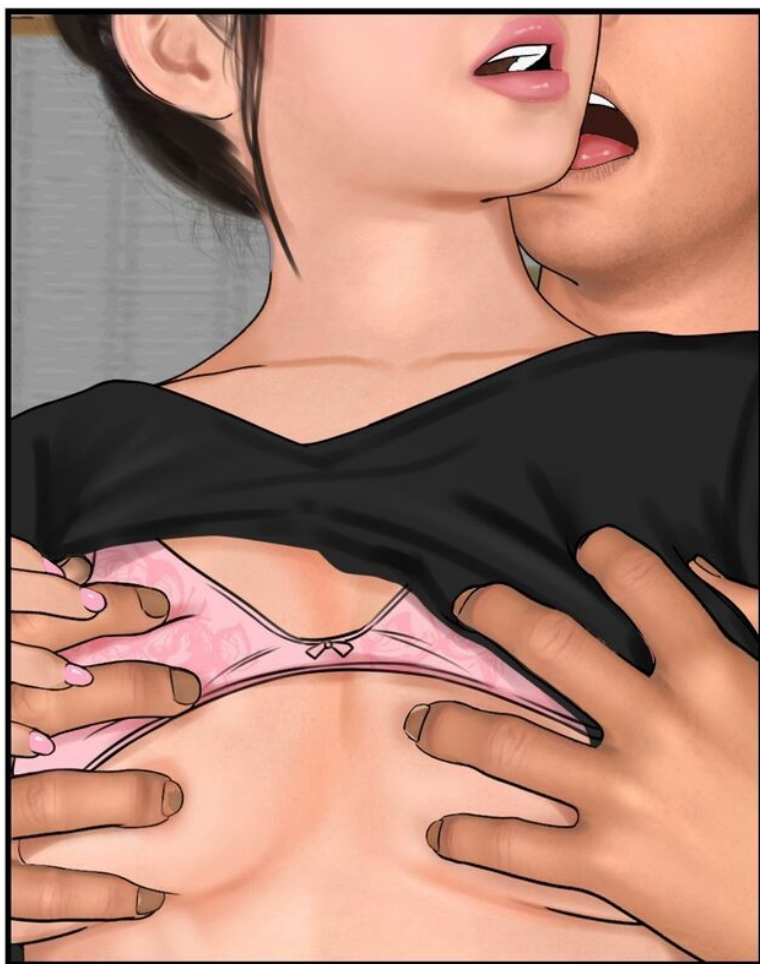
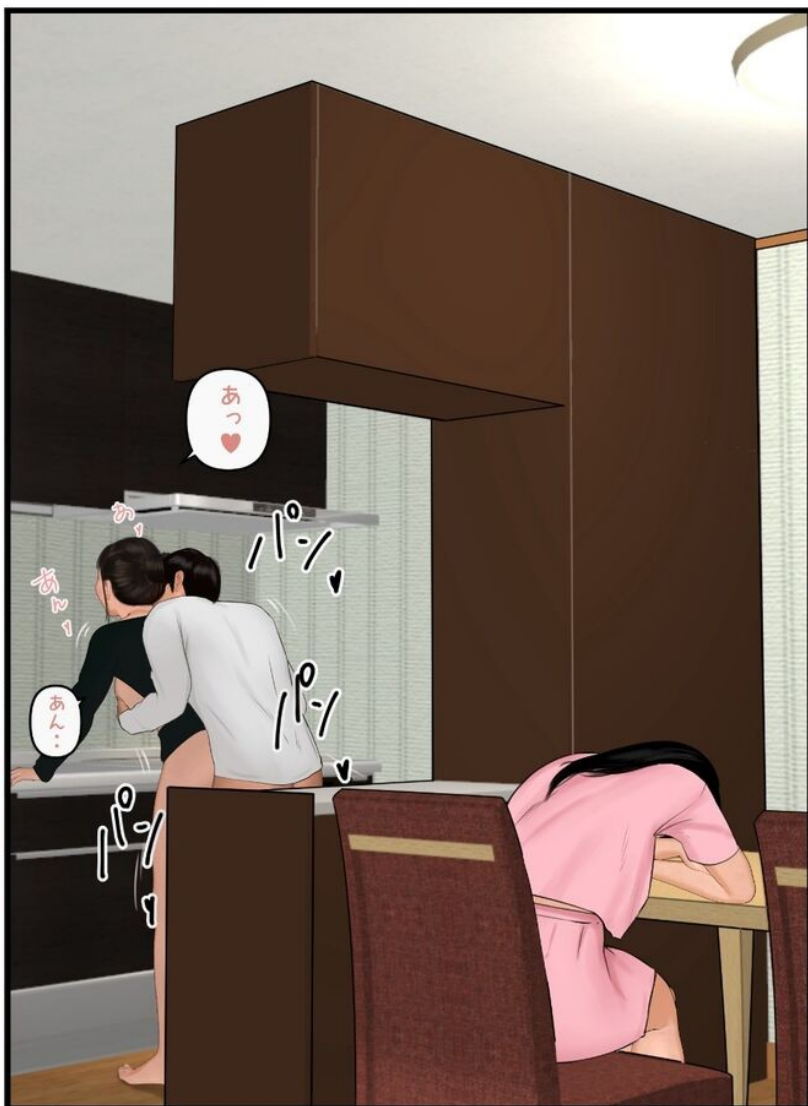










娘の彼氏に

溺れた母

Cammy



3か月前、娘の彼氏が
自宅に遊びにきたときに
それはおきました…

美穂の母さんとなら
全然、セックス
できるわW

ピッ

おっぱいでかいし、
めっちゃ童顔だし、
全然いけるよ

すごい、会話してるわね…

はっ!?
嘘でしょ

何、今の
会話…

いや、
マジで…

彼が言った
何気ない一言。

でも、ママめっちゃ
おばさんだよ…

っていうか、彼女の前で
いうセリフ

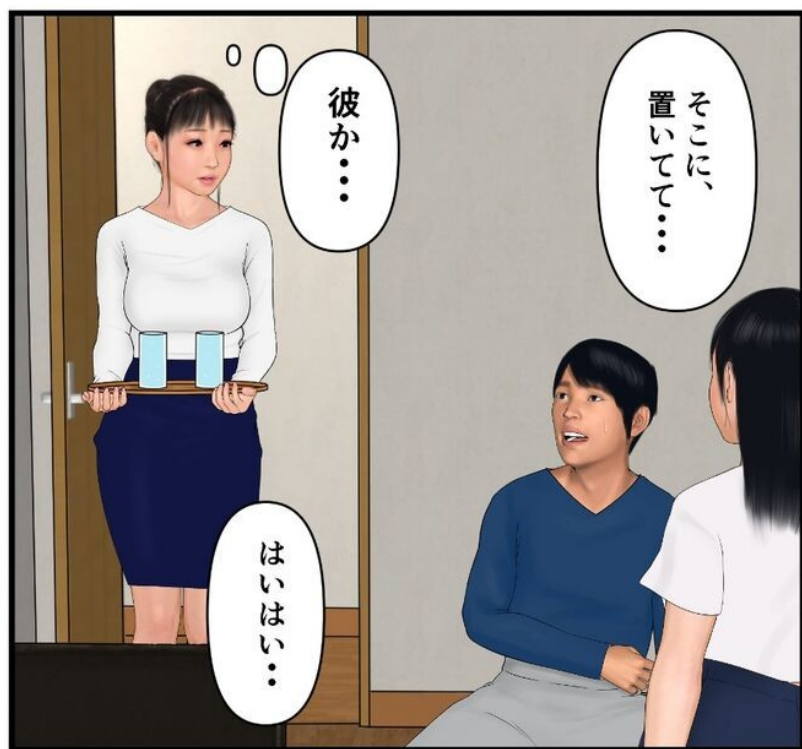
ア、だ、だ、だ、
ムッ

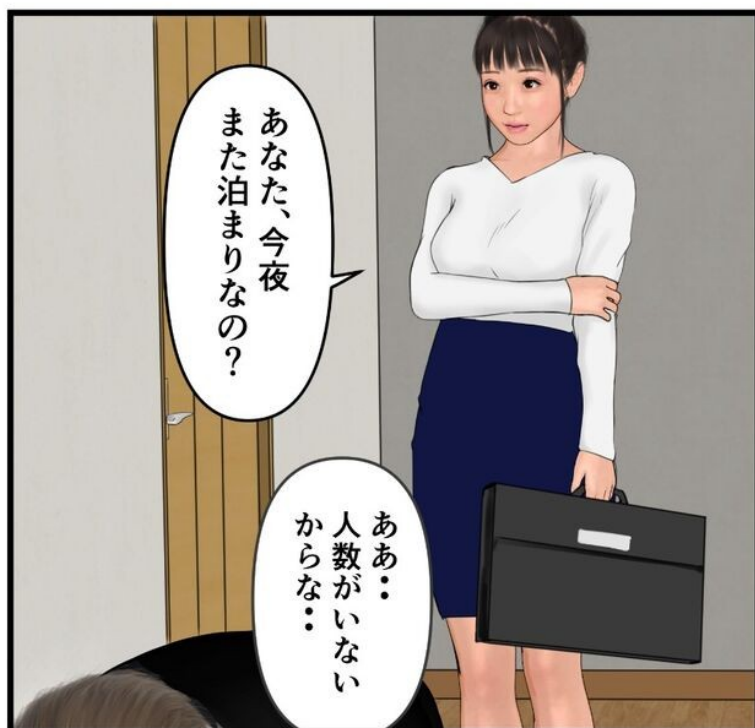
あらあら、随分
楽しそうね…
飲み物持ってきたわよ

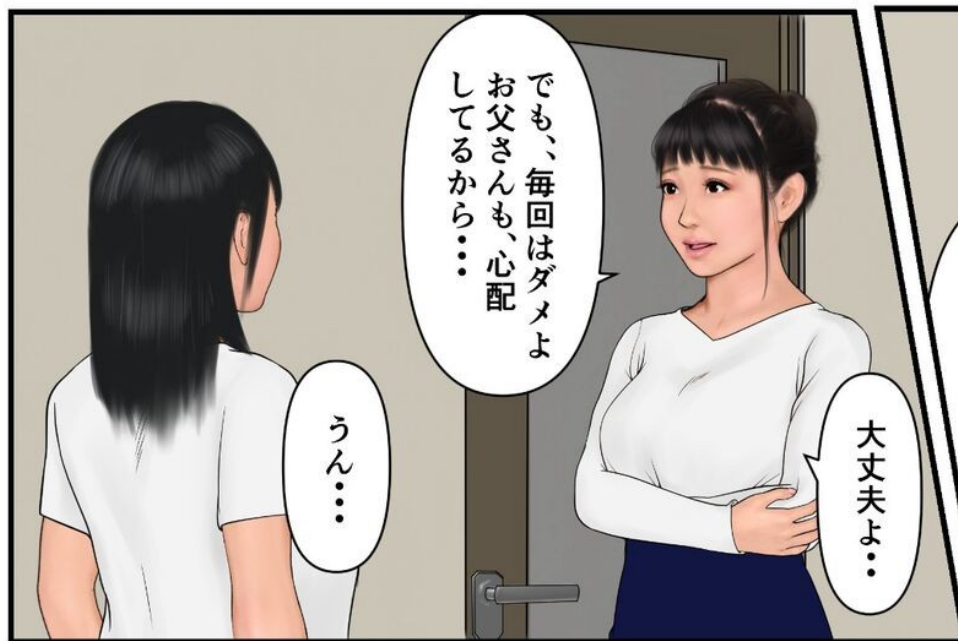
ガチャ

ピッ

ピッ







美穂は、遺伝性の病気を患っており、日に数回、薬を飲まなければいけません。

ガラ...

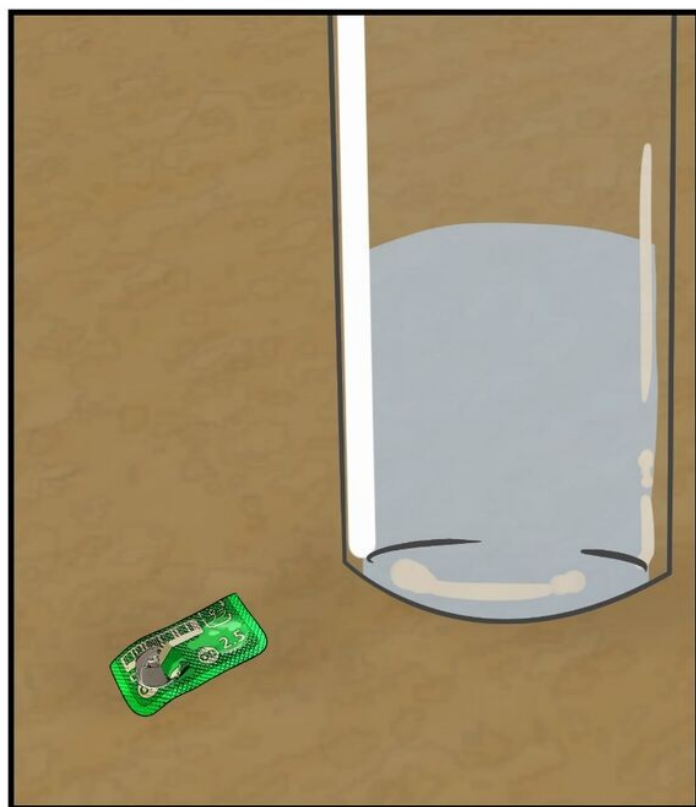
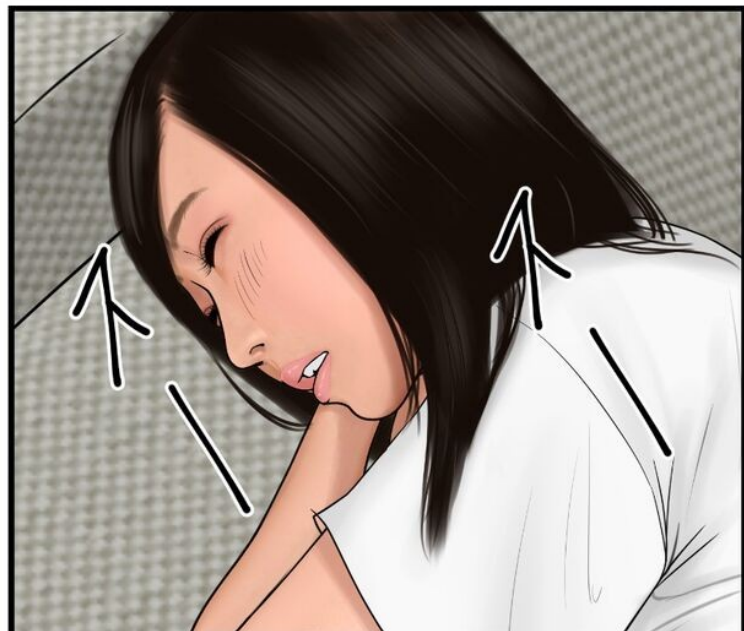
父も同じ遺伝性のものを持っており、間違いなく父からの遺伝でした。

そこまで重度の病気ではありませんが、若くして薬漬けの日々は、親としては見ていてつらいものがあります。

パパの部屋は使うと怒るしな〜

さっきの会話はちよつと怖いけど、結構真面目な子だから、大丈夫かな...

...



飲むと、眠気が襲ってくる副作用
みたいで、3時間は起きてきません。

本当によく眠るわね〜

やだ、徹君
寝巻あったかしら…
もうすぐお風呂あがるわよね…

あつ…

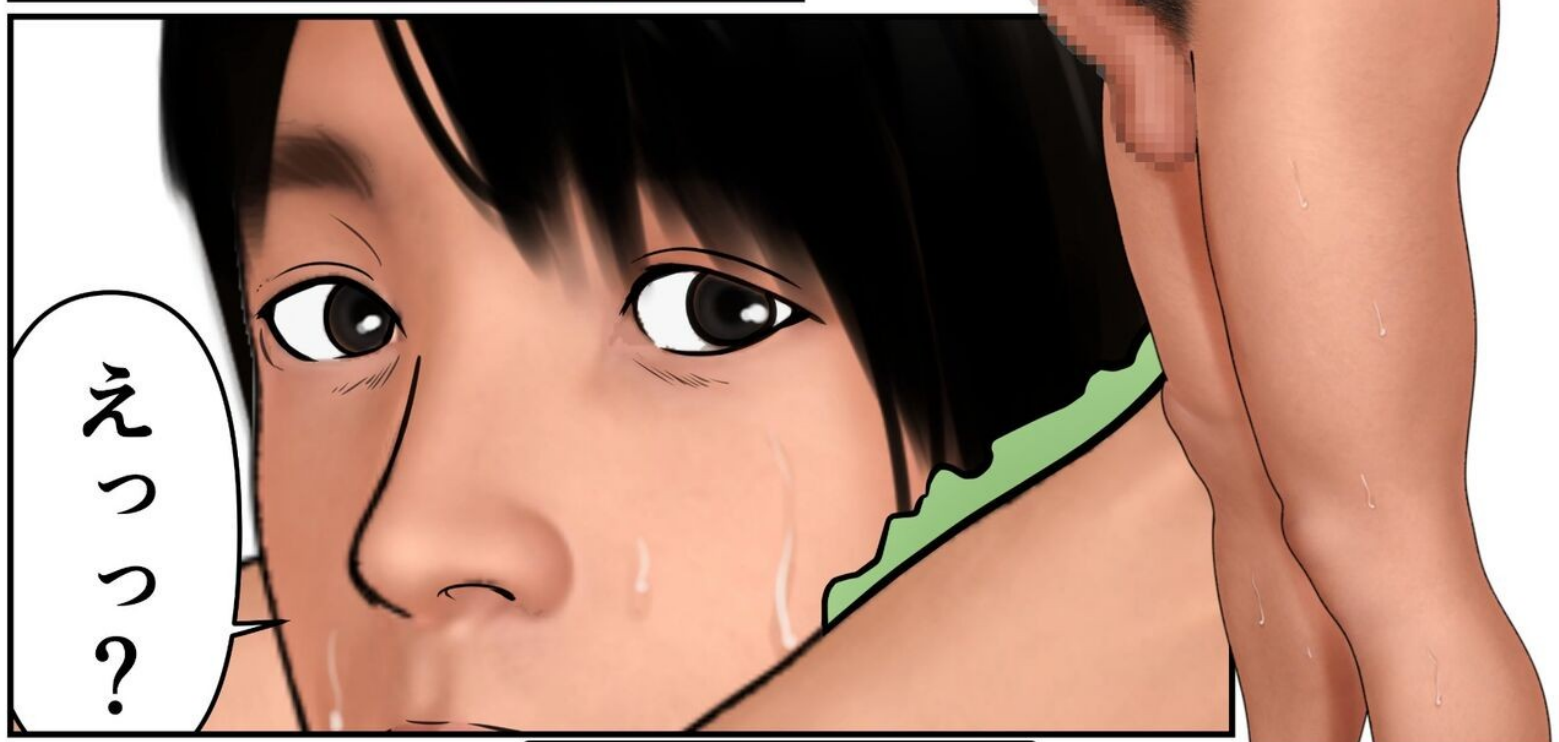
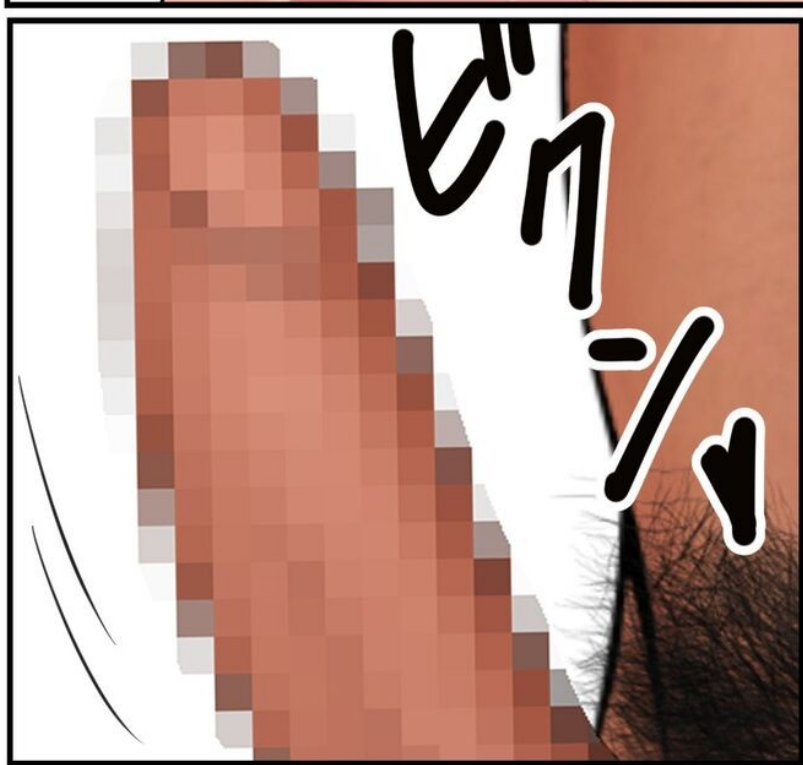
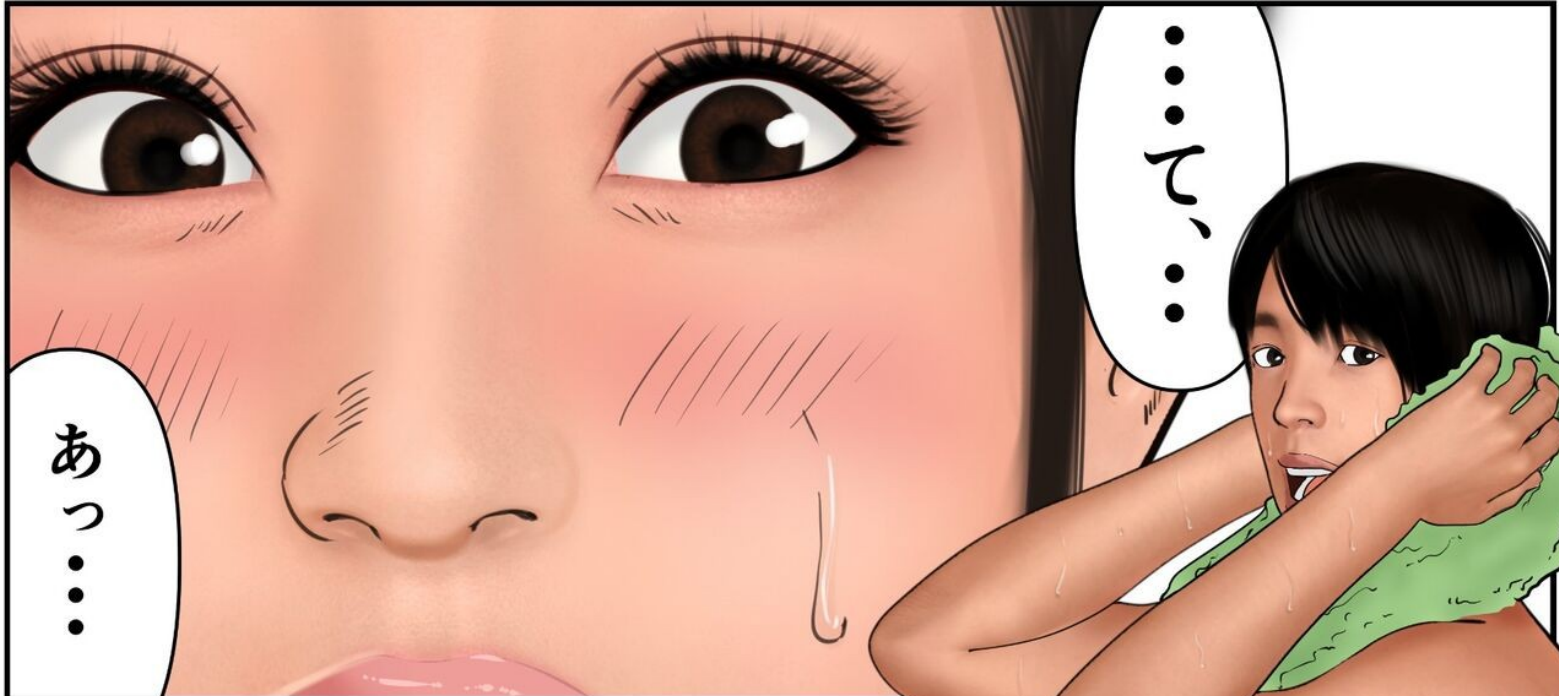
徹くん、
ごめんなさい…

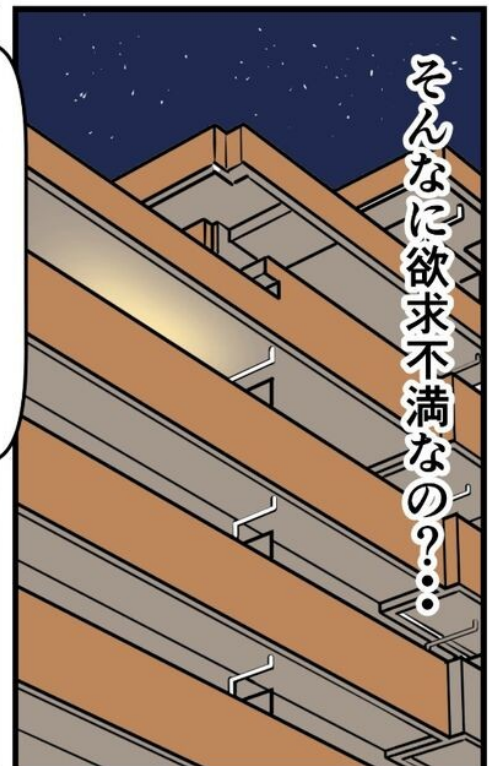
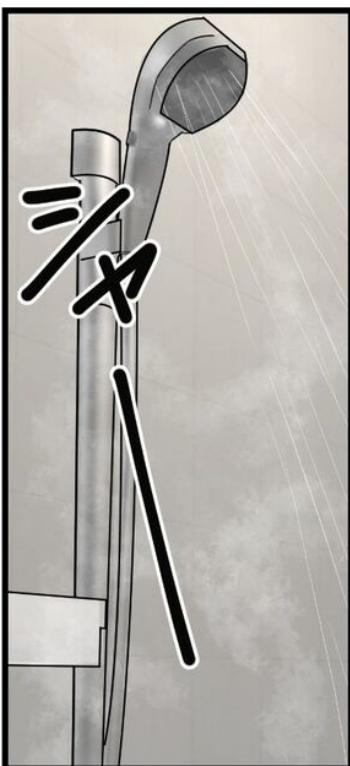
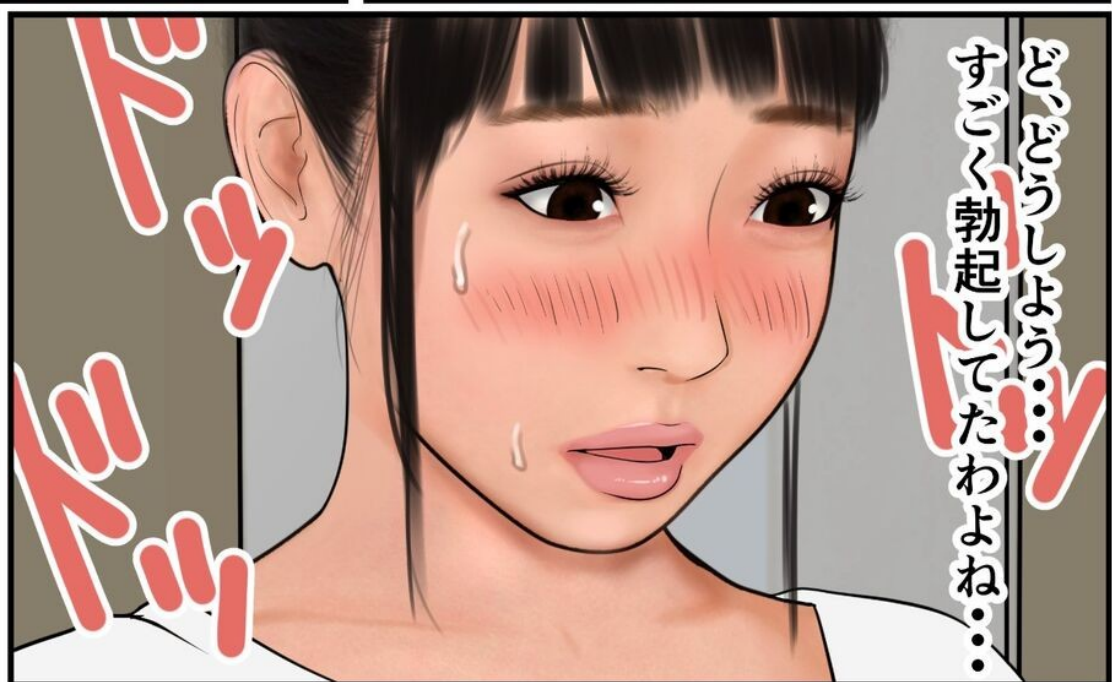
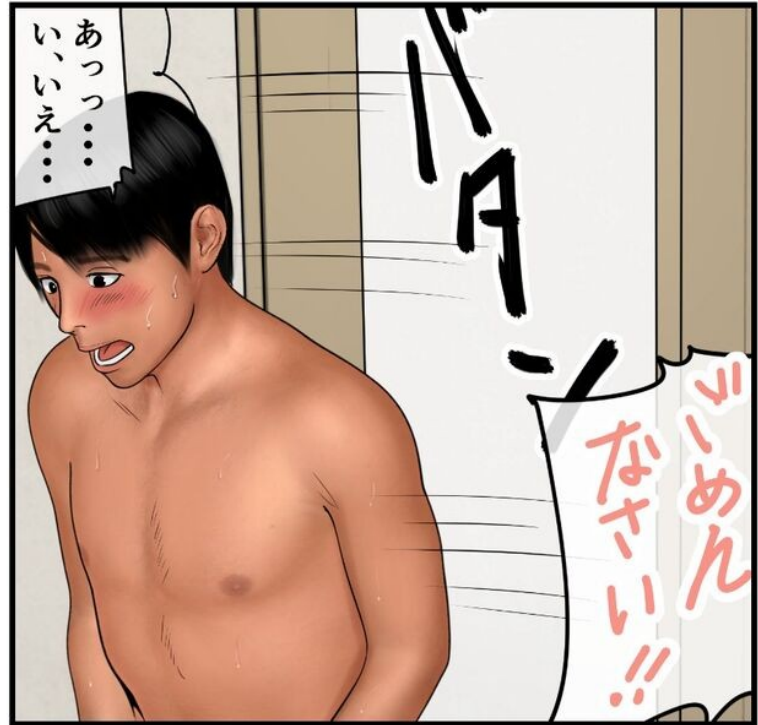
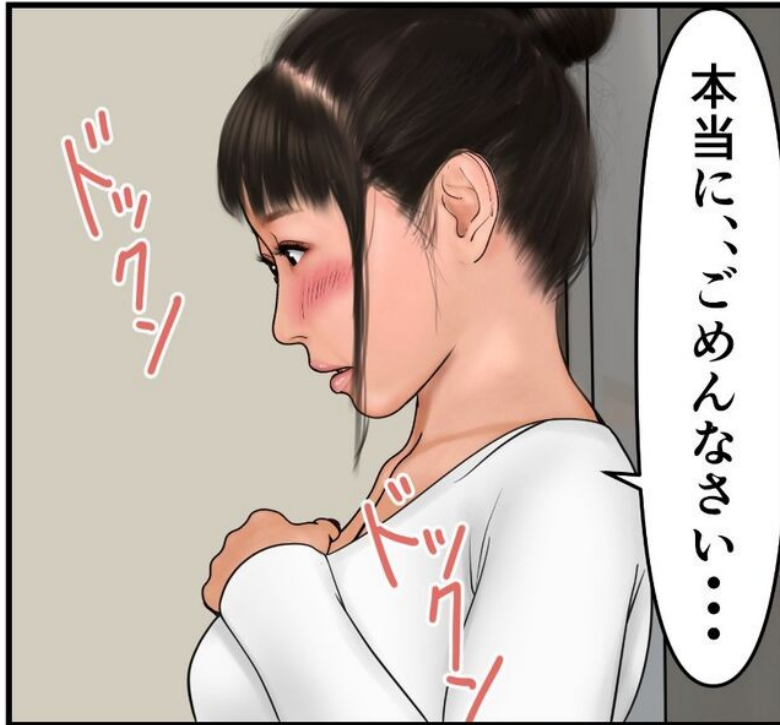
まだ、出てない
わよね？

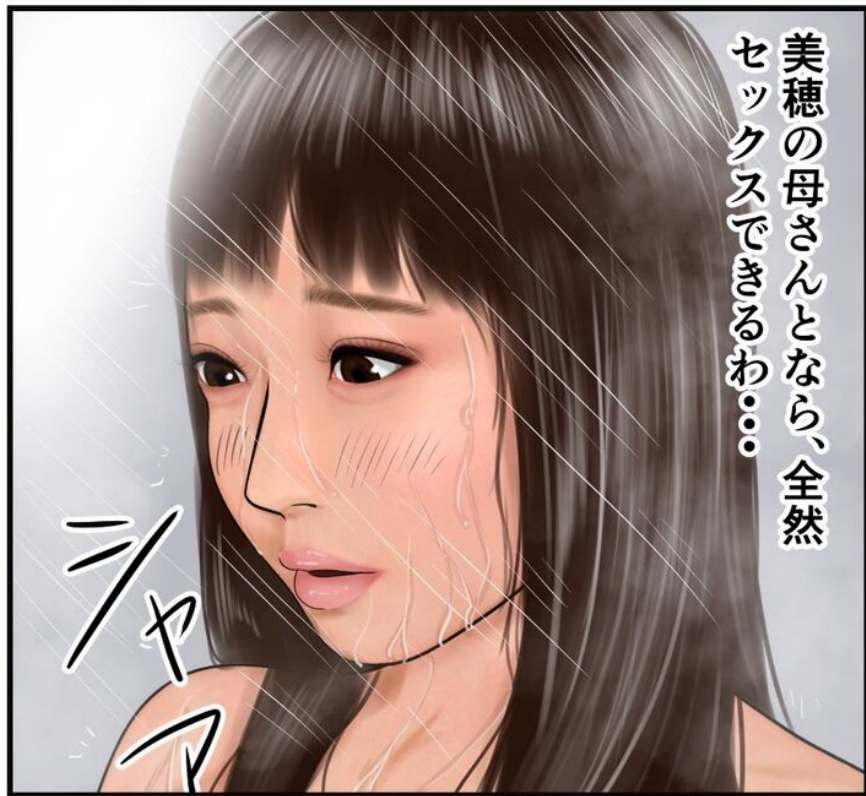
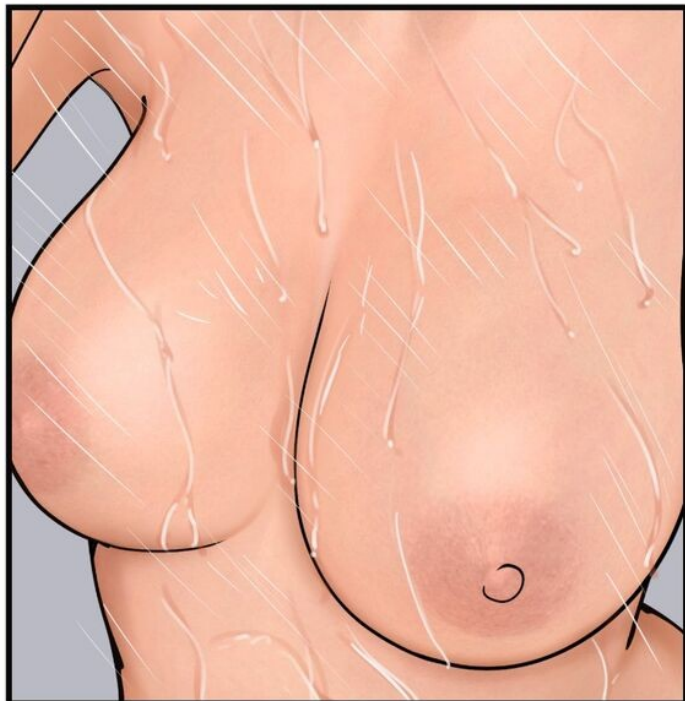
着替え、お父さんの
のだけど、よかったら
使っ…

ガキヤ…

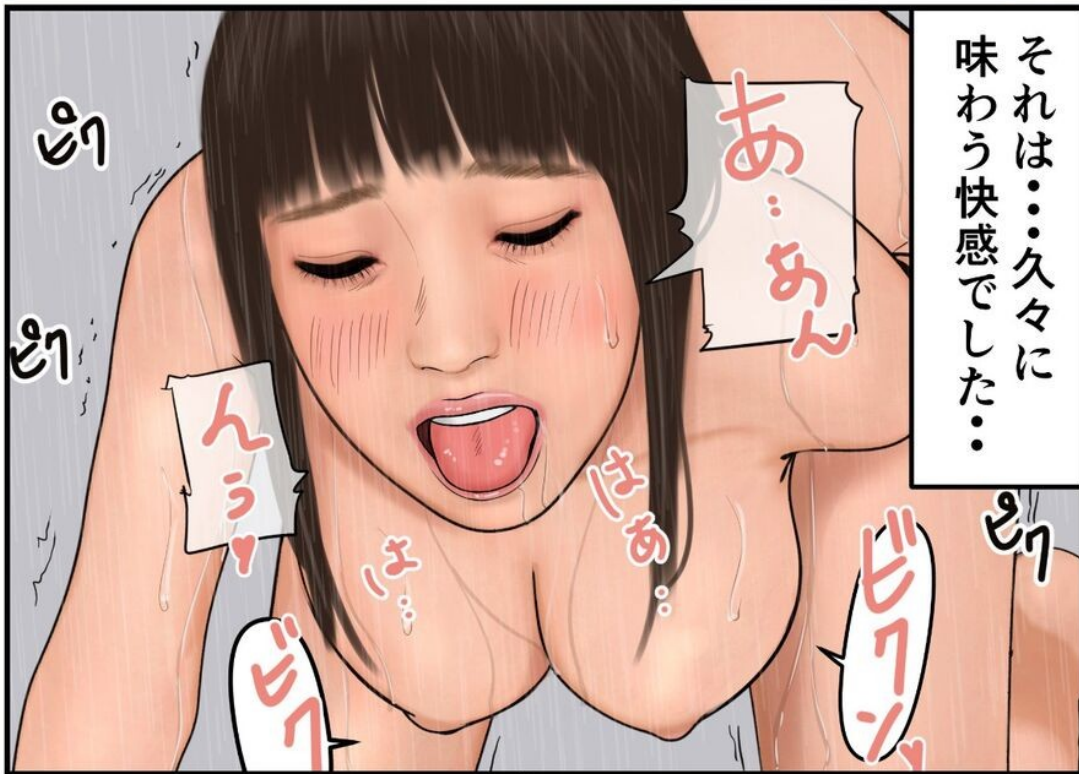
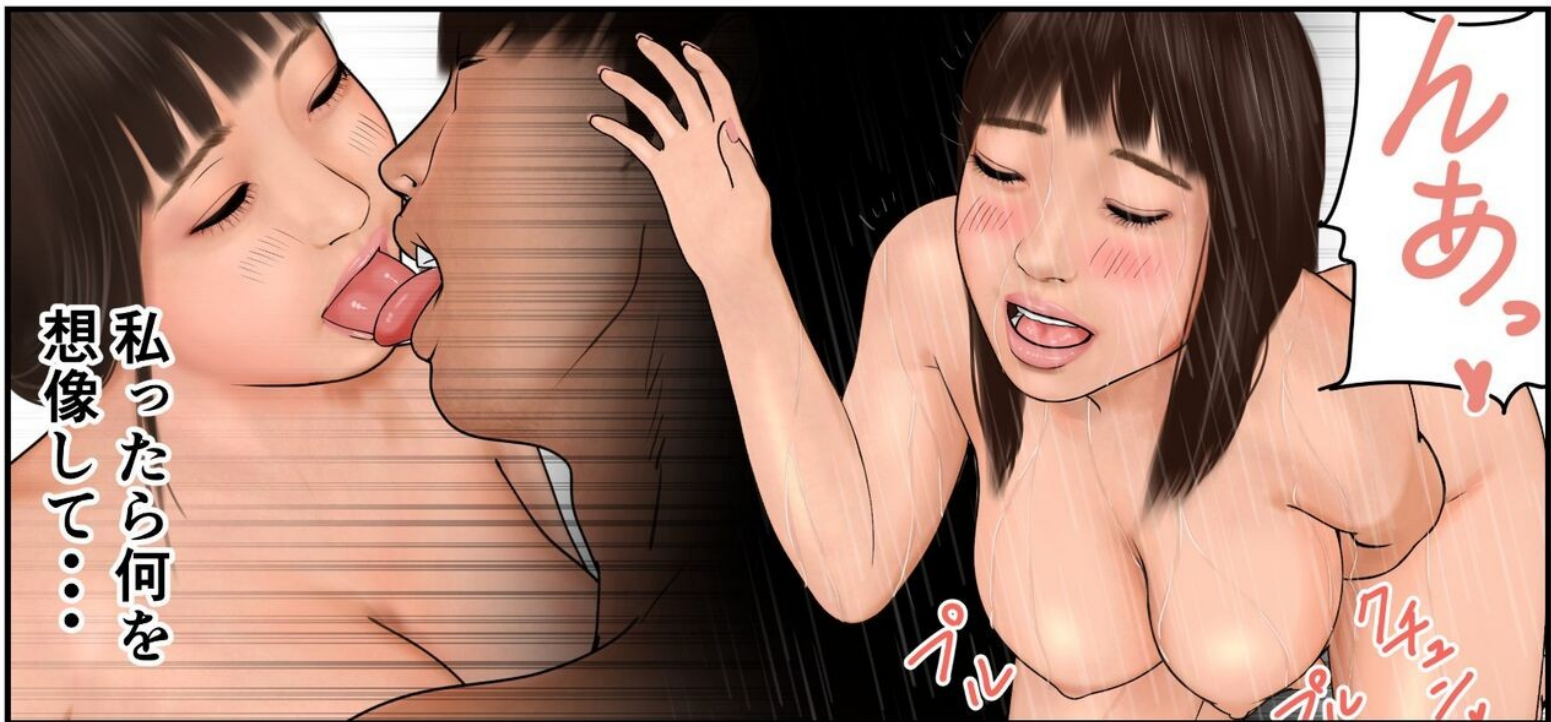
ガラッ…







美穂の母さんとなら、全然
セックスできるわ...



それは…久々に
味わう快感でした…





あっっ...

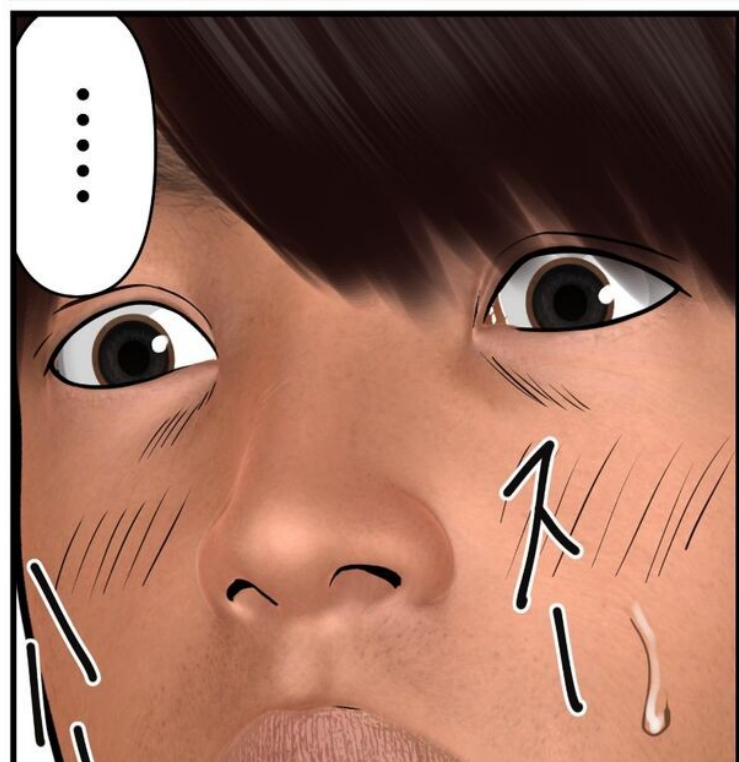
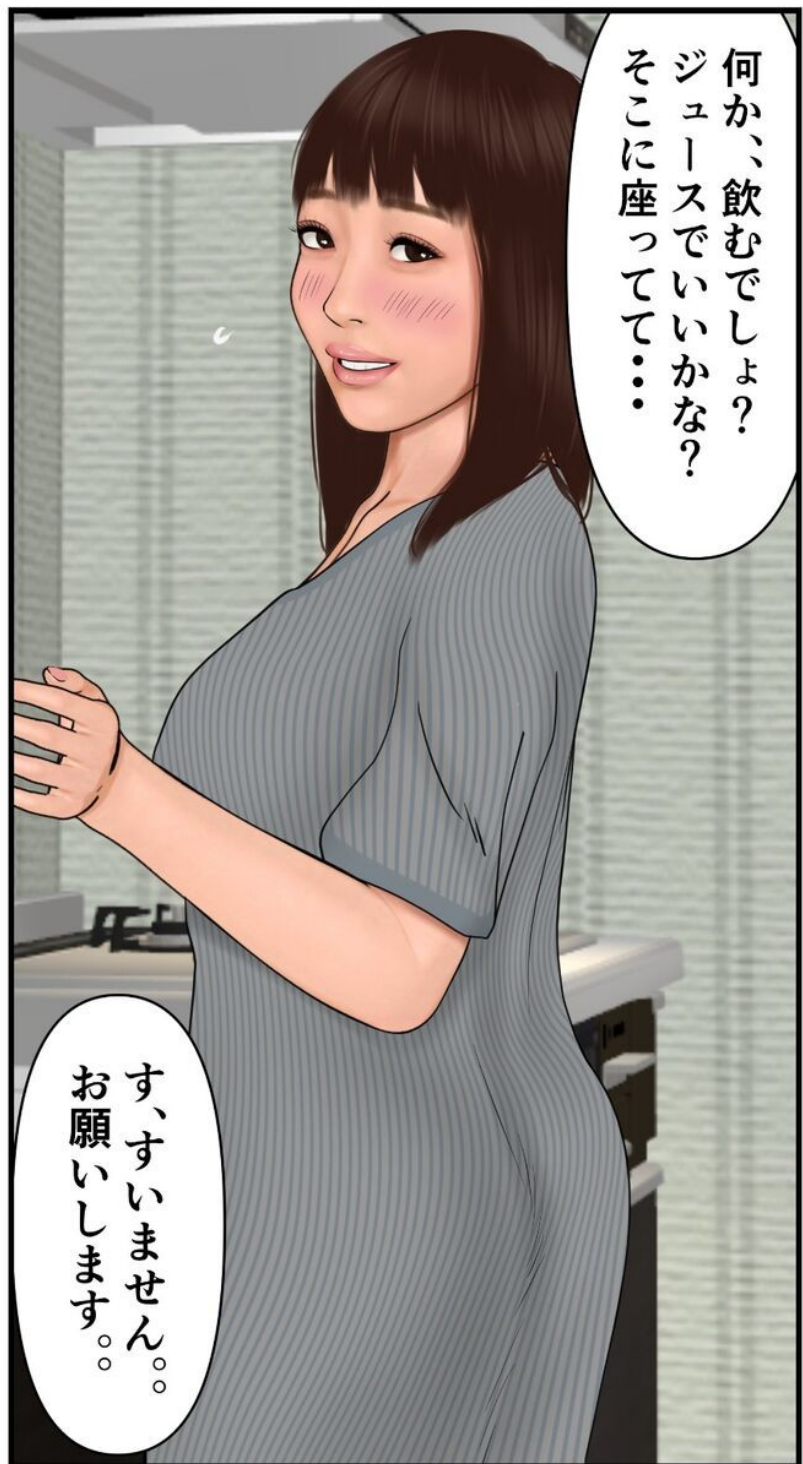
ドキッ

はあ
ふ

はあ：私って最悪ね...
よりによって娘の彼氏で
想像しちゃうなんて...

ビクッ

あの...



彼の視線が私の身体に向いているのは、すぐに分かりました。

私もお酒がまわっていたのか、彼が私に興味あることや...

彼の裸を見てしまったことが頭をチラつき...
変な興奮状態が続いていました。

ドゥッ
ドゥッ

この後、少し彼と話をしました。
美穂の薬のこと、そして父のこととか...

えーそうなの？
知らなかったー

彼と話していると、時間はあつという間に過ぎていき、やはりというか...

流れでそうなってしまいました。

はあ...

はあ...
レロ
レロ
♡
♡

はあ...

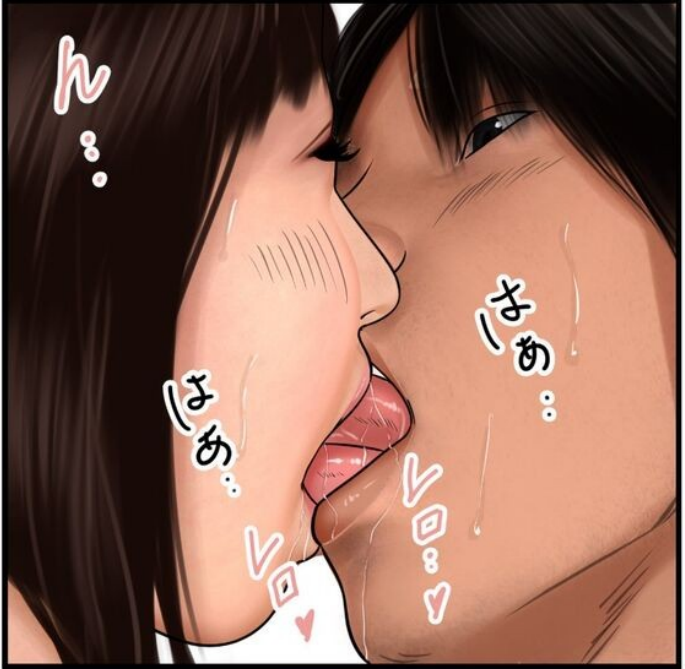
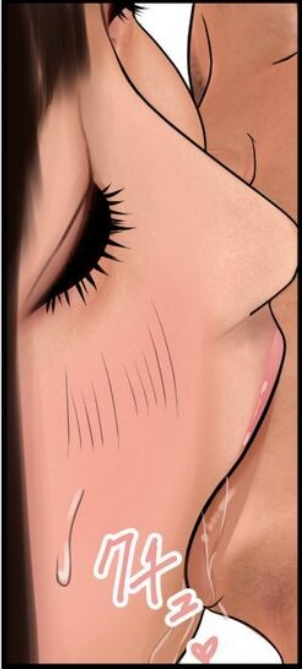
はあ...

フッ♡

いッ♡



すっぴんの子、キス上手だわ...



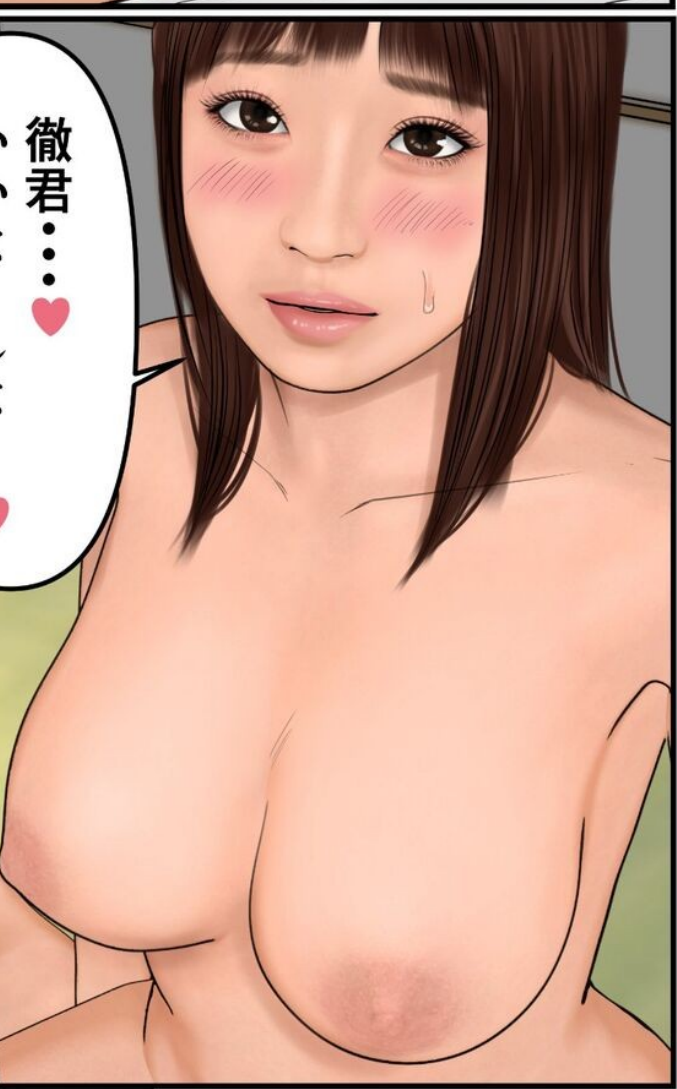
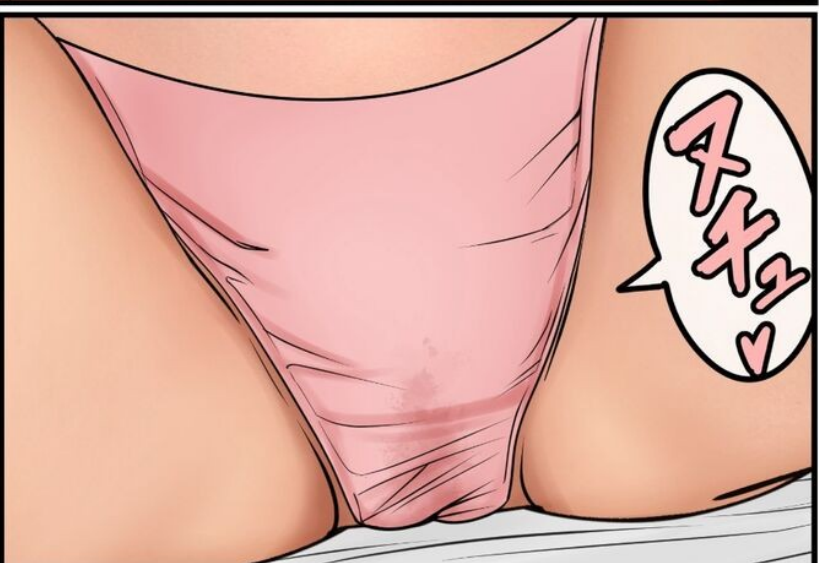
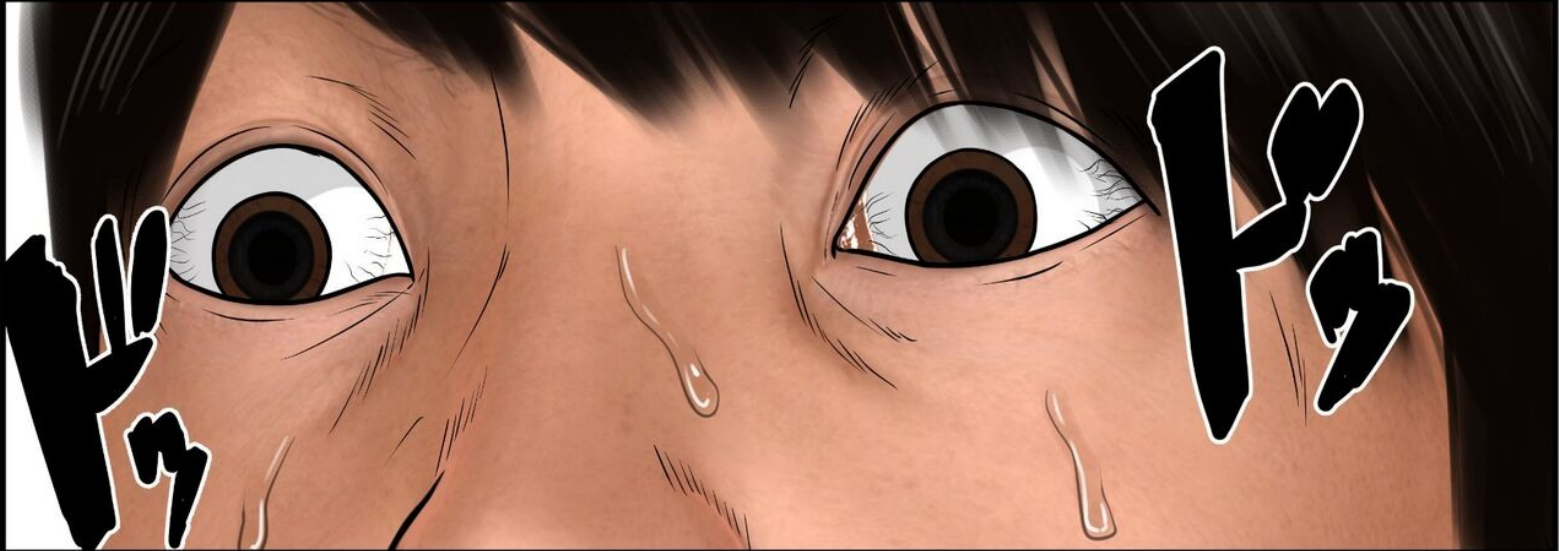
私も、キスは好きだから...

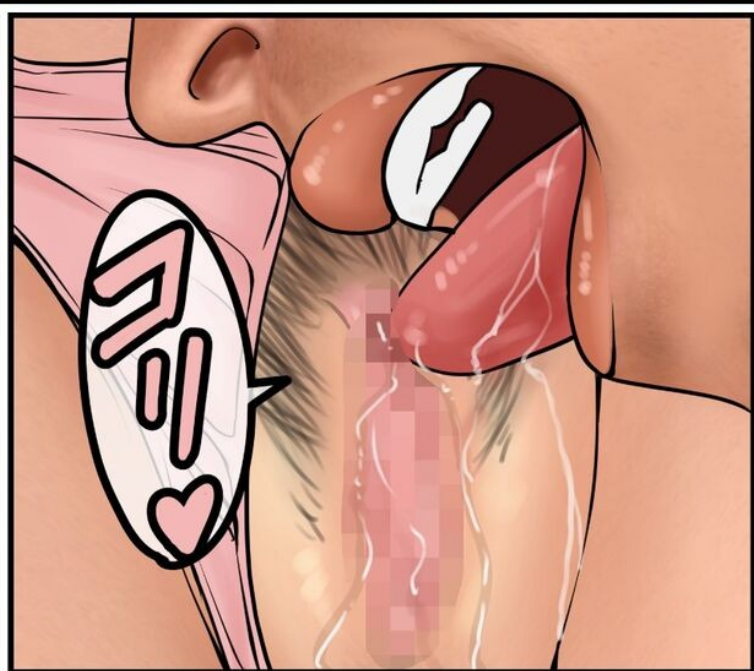
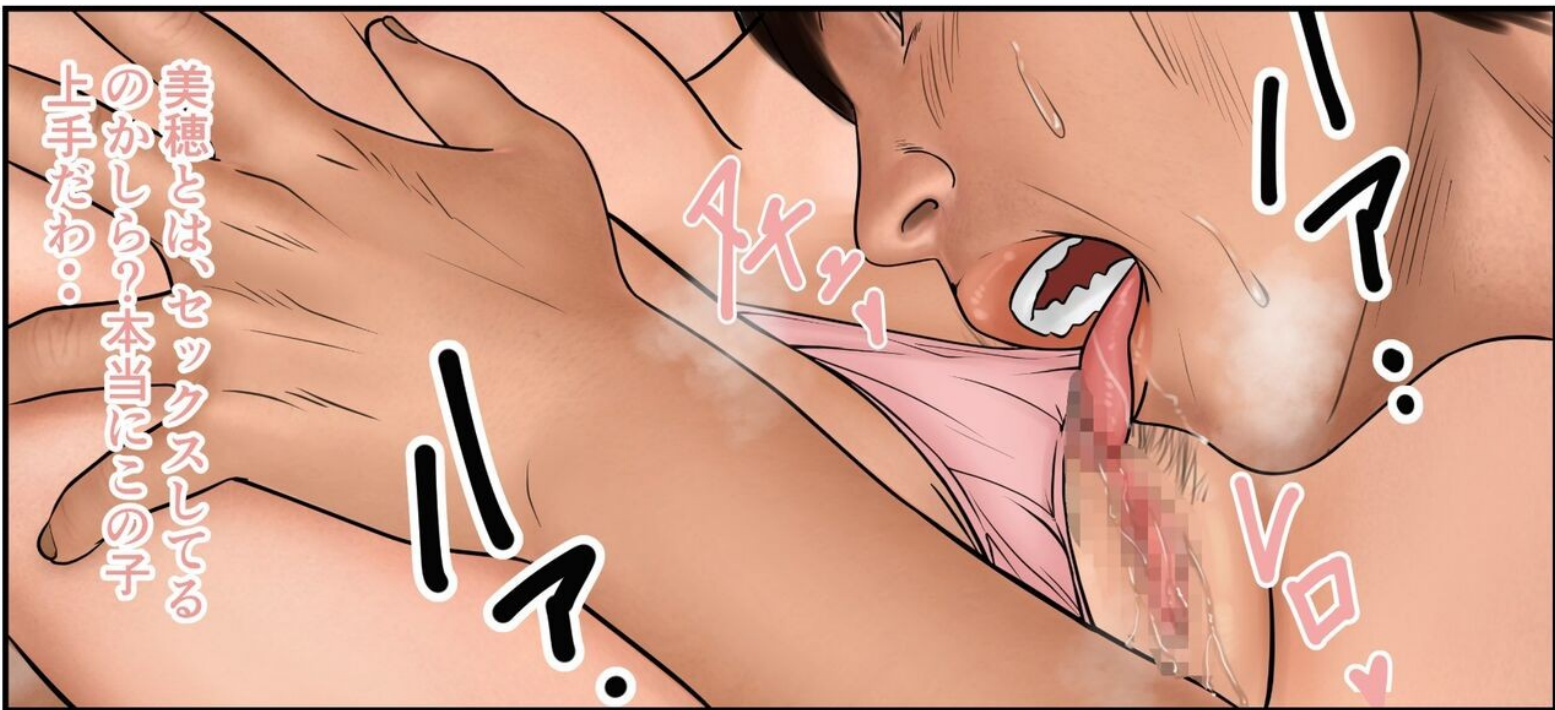


身体がこたえちゃう...



久々にこんな気持ちいいキスしたかも...



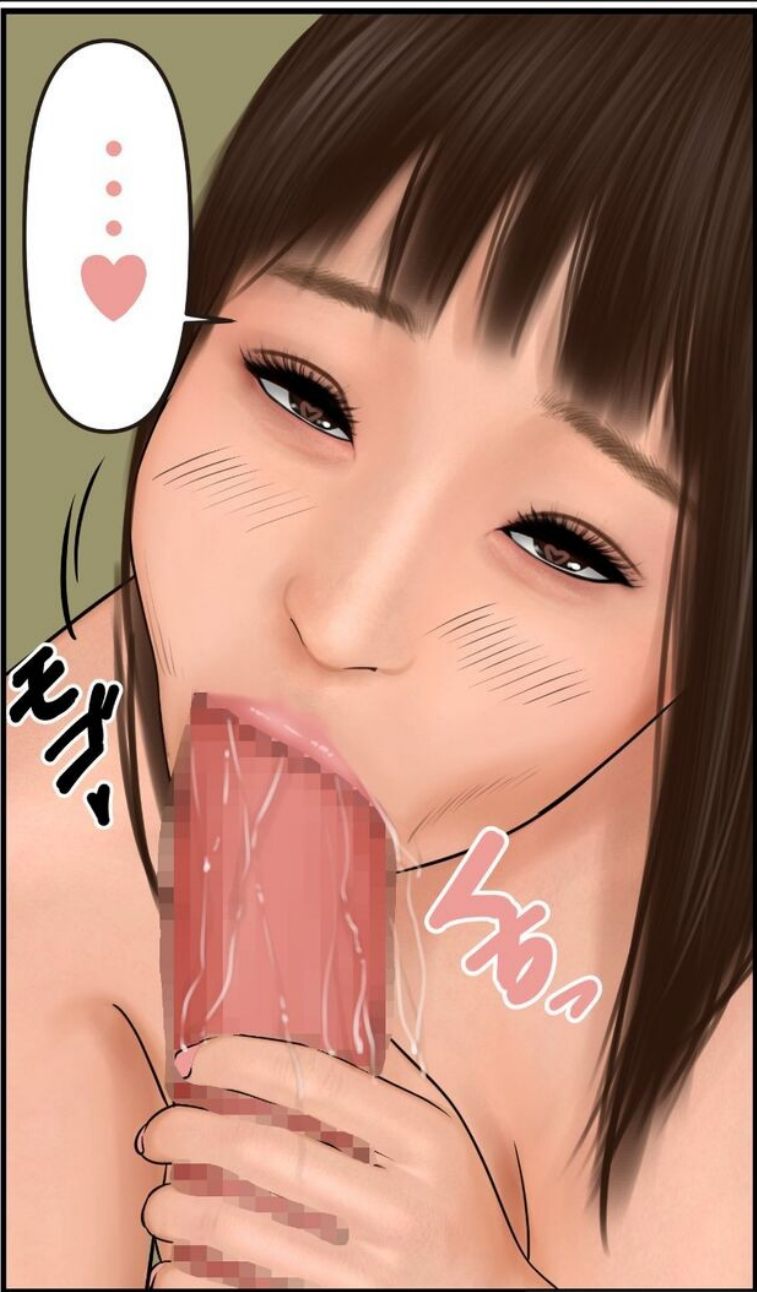




すっぴん...

おばさん...

はあ...
はあ...



...

もぎ

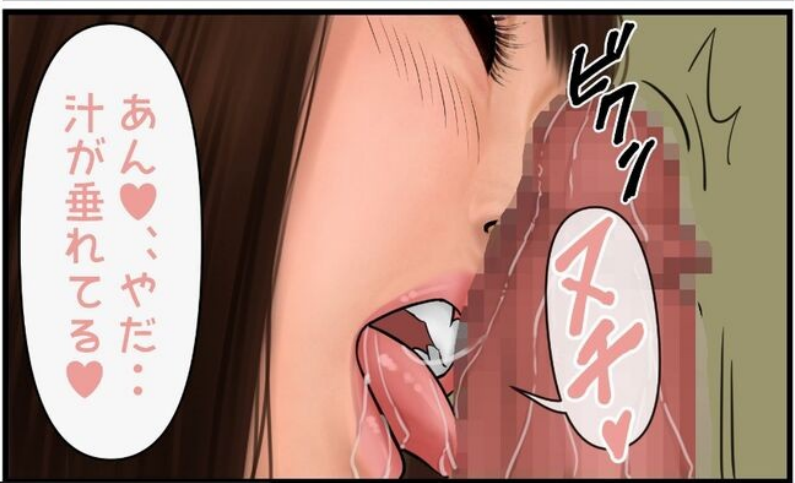
ぐわ



さっき見たけど...
徹君、すごく
おっきいね♡

はあ...
ぷる

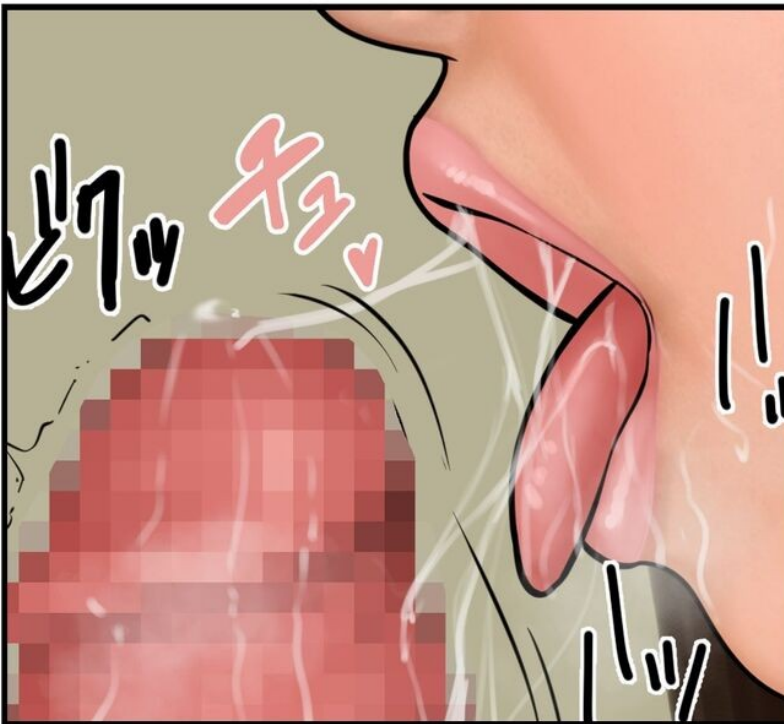
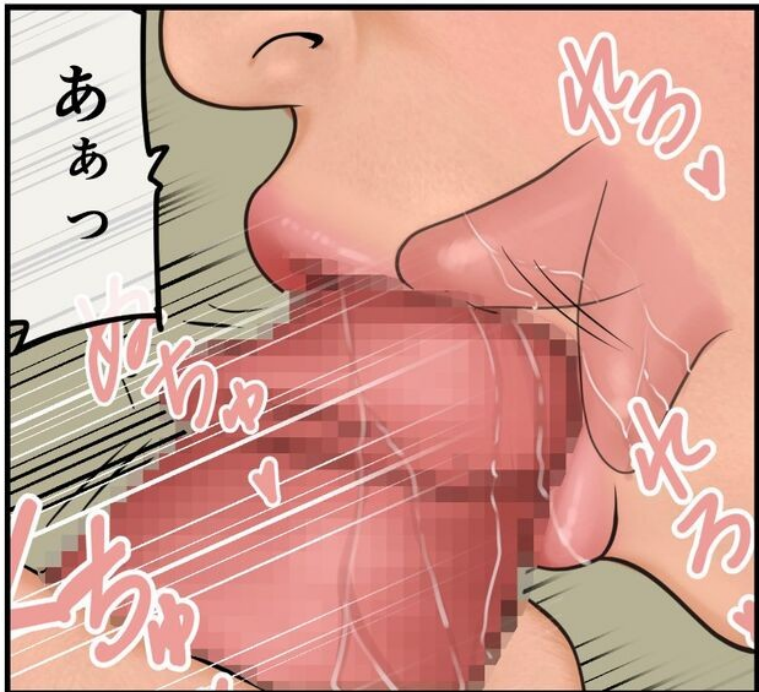
ニギ...



あん♡、やだ...
汁が垂れてる♡

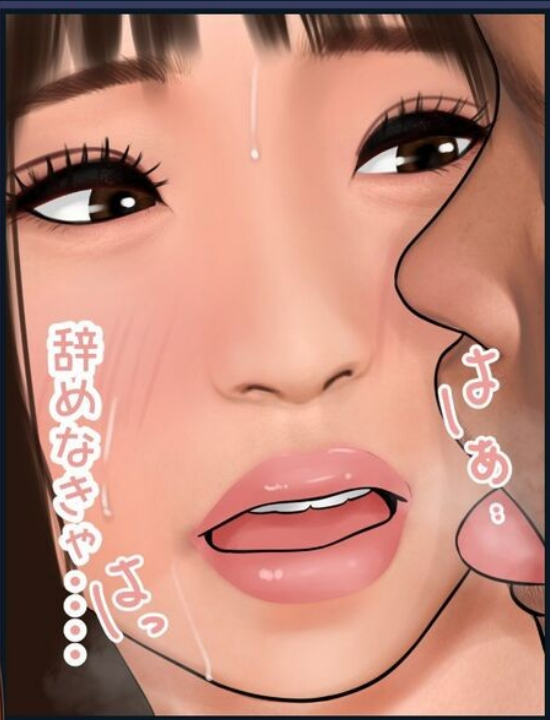
ぐわ

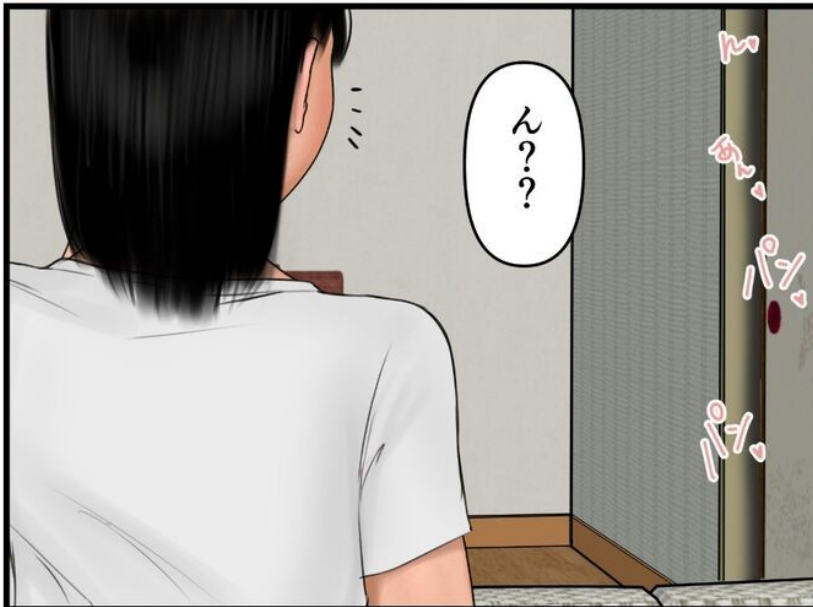
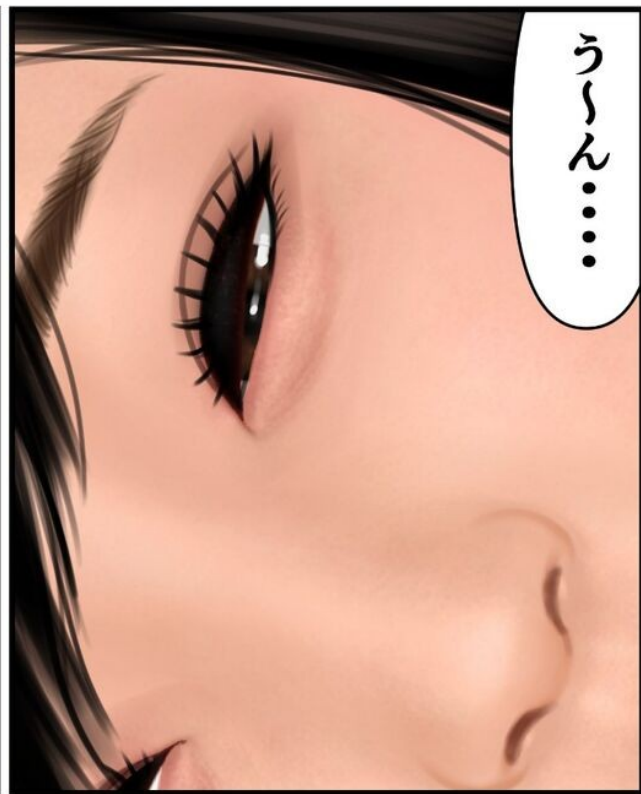
アオ



これが私の膣内に入って
来ると思うと、興奮が
止まりませんでした。





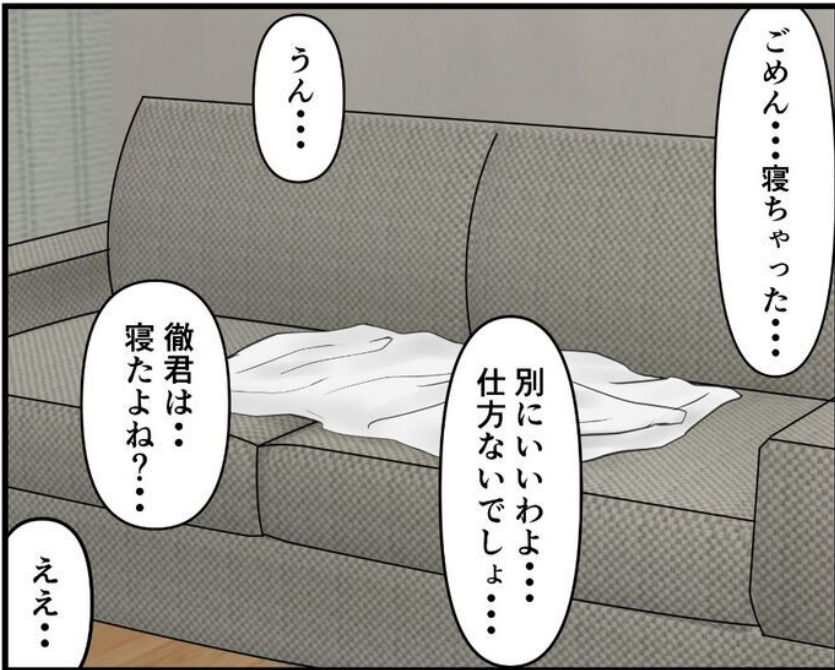




美穂…



あれ？…



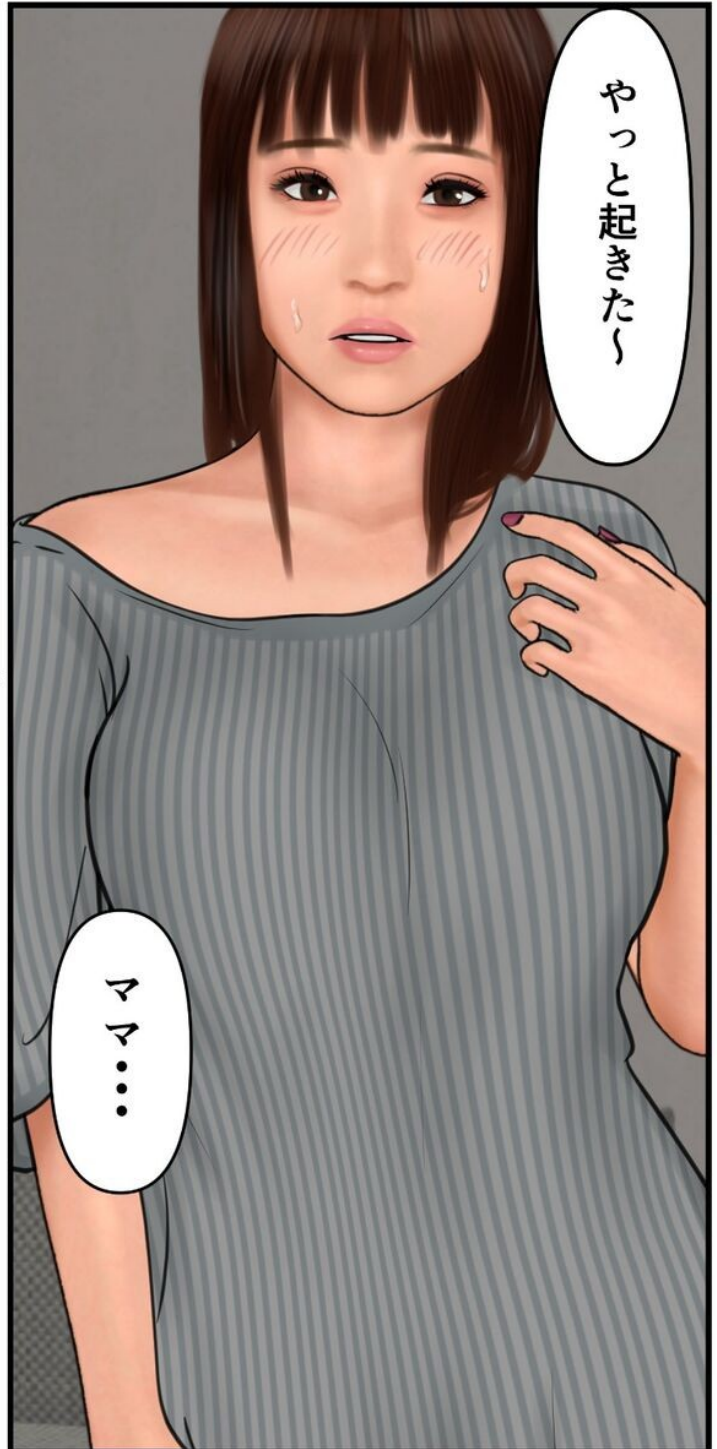
ごめん…寝ちゃった…

別にいいわよ…
仕方ないでしょ…

徹君は…
寝たよね？…

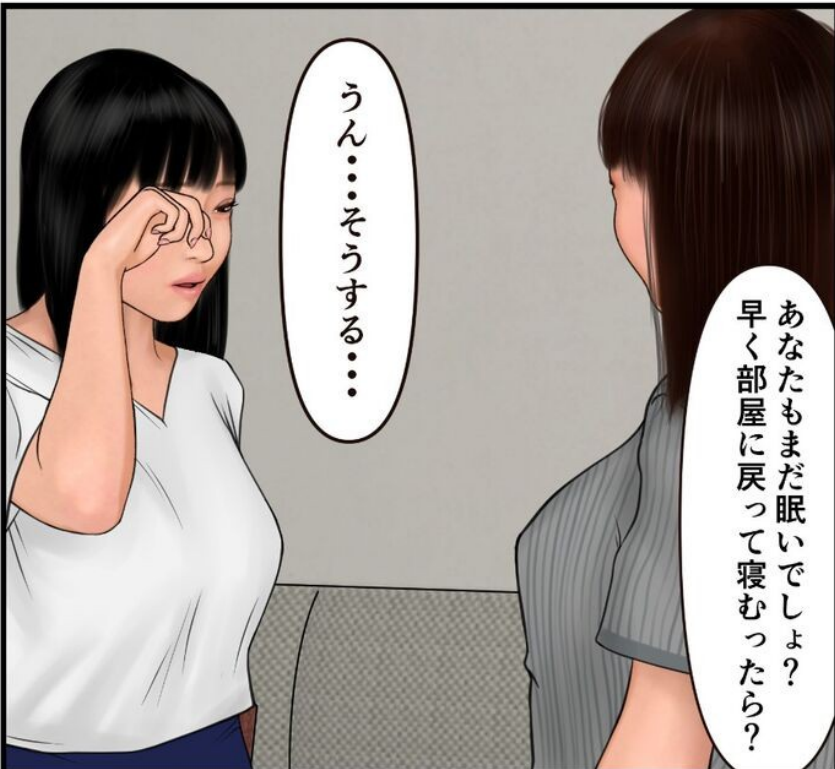
うん…

ええ…



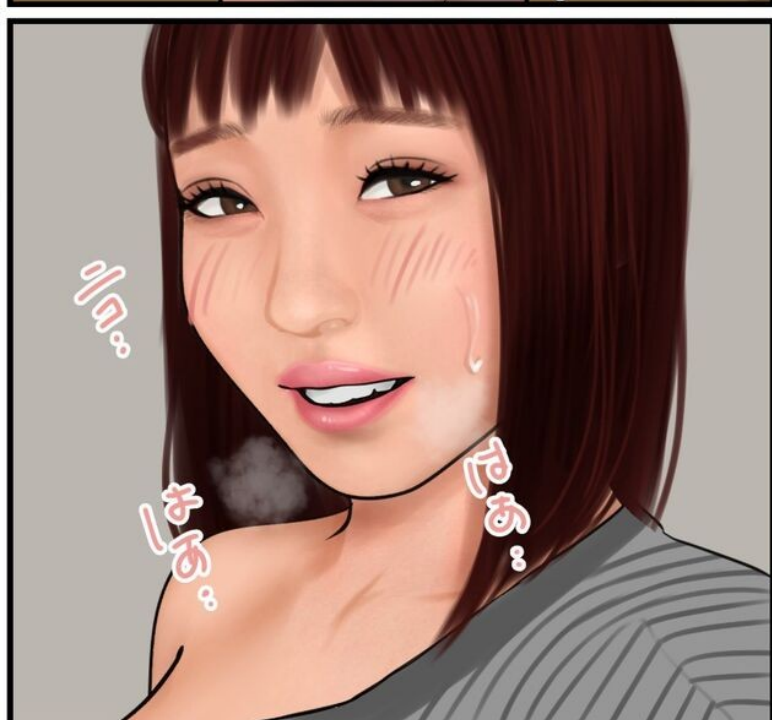
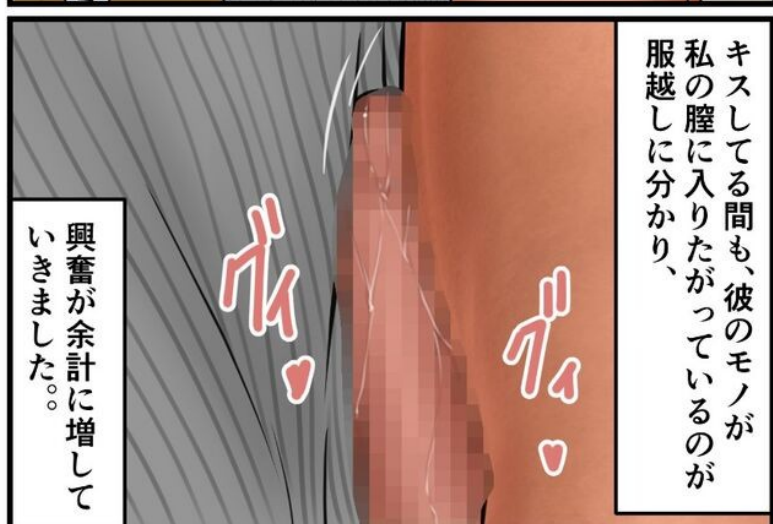
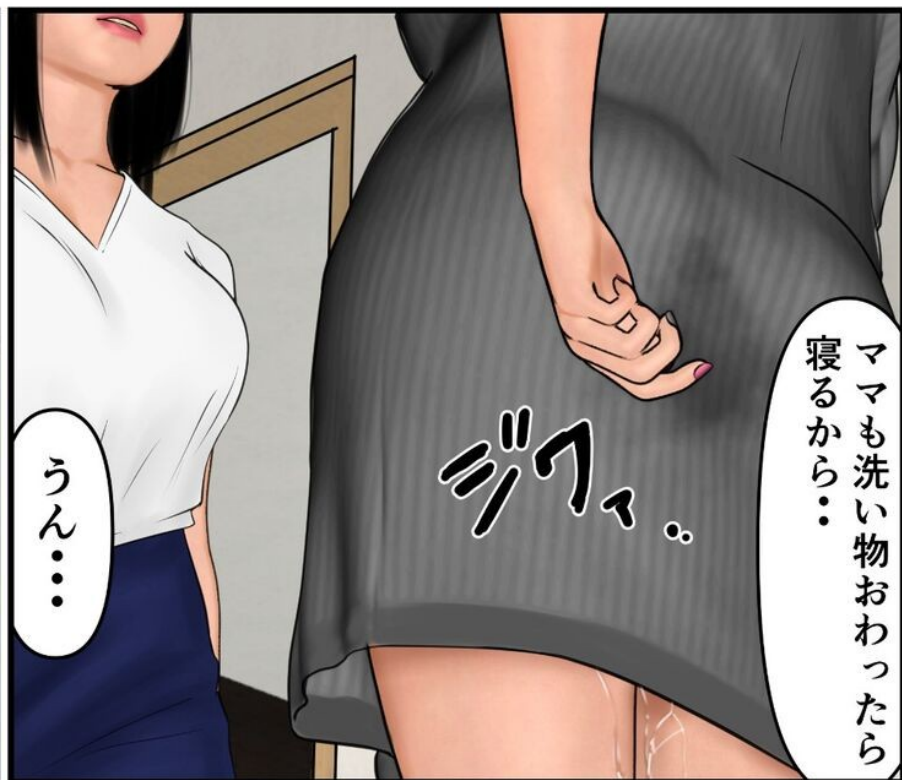
やっと起きた…

ママ…



あなたもまだ眠いでしょ？
早く部屋に戻って寝むったら？

うん…そうする…



あつ：秋穂！
中に出していい？
俺、もう…



私の膣内に、彼の生温かい
精液がたっぷり注がれるのが
身体を通じて分かりました。

ああ…ん♡

ドクッ♡

ドクッ

ピュッ♡

はあ…

はあ…

この日は、お互いの肉欲が
底をつくまで貪りあいました。



本当に、ごめんね。
美穂、お母さん
どうかしてた…

これで、最後にしなきゃ…

はあ…

はあ…

そう、心に誓いました。

ビク…

ビク…





あなた！

コト！



ご飯より
降りてきなさい！



美穂！



ガ
あああ

...



あなた？

ガチャ



美穂：



美穂、徹君
来てるわよ...



みんな起きました？



困ったわ

場所どうしようかしら？
寝室も使えないし...



やっぱり、2日分は
きつすぎたかしら？



それが...ごめんなさい
みんなぐっすり
寝てるのよ

今日は、わたしの祝い事
なのに...まったくもう...

大丈夫ですかね？

大丈夫よ…
いつもやってるでしょ？フフ…

なんか、照れますね…

ビクッ

アッ

フフ…そう言って
すごい勃ってる♡

やつぱり、大きいわ

はっ♡

さっ♡

んむ♡

ぐちゃ♡

フホッ♡

フホッ

んぐ♡

彼と交わって以来、何かに
目覚めた私と彼は、娘と旦那
に隠れて、お互いの身体を
貪りあっていました。



END